

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 半田市立乙川小学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	本校6年生児童
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 () ②行事名 () ③その他(あすチャレ!スクール) (2) 地域における活動 ①イベント名 () ②その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラスポーツを体験することを通じ、障がいについて主体的に考えることができる児童の育成
5 取組内容	(1) 車いすバスケットボールデモンストレーション ・講師による、バスケットの操作説明・実演 ・パラスポーツの紹介  (2) 車いすバスケットボール体験 ・代表児童による車いすバスケットボールの試合 5対5 ×2試合   ・教員による車いすバスケットボールの試合 4対4 ×1試合 (3) 講師による講話 <内容> ・「他者のことを自分ごととして考える心」 ・「障がいとはなにか」 ・「可能性に挑戦する勇気」 ・「夢や目標をもつ力」 ・講師から児童へのメッセージ 

<p>6 主な成果</p>	<p>今回の「あすチャレ！スクール」を行う以前の児童は、パラスポーツに対する興味はそれほど高くなく、車いすバスケットボールを間近で見たことがある児童やどういったスポーツであるか詳しく知る児童はほとんどいなかった。</p> <p>しかし、実施をしたことで車いすバスケットボールを含めたパラスポーツが、誰もが楽しむことができるスポーツであることや、スポーツを通して、健常者も障がい者も隔てなく生活していくことの素晴らしさに気付くことができていた。</p> <p>僕は障がい者のかあいをうつらむと思っていんだけど、みんなはここにきていて元気で明るく喜びしていました。ぼくもみんなのように明日にチャレンジしたいです。今日の車いすはどんなことでもチャレンジして楽しむことが大切なんだなと思った。障がい者でも普通の人と同じようにいろいろなことができるということが分かった。今の自分はとても</p> <p>また、講師の車いすバスケットボールに取り組む姿や講話を見聞きして、苦手なことや嫌いなことから逃げるのではなく、諦めずに挑戦していこうという気持ちをもった児童が非常に多かった。</p> <p>苦手な事をすぐあきらめるんじゃなくて、チャレンジをする自分になりたい！</p> <p>宣誓!! 僕は今という時間を 精一杯楽しもうと思います</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染が広がっている中、感染拡大を防ぐために時期や日程を調整した。</p> <p>本校には活発な児童が多いため、体験活動を通して障がいについて主体的に考えられるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>内容が高学年向きであった。今回は6年生を対象として行ったが、小学校全体を対象として行う場合は、低学年でもより分かりやすいような内容にしていく必要がある。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度6年生のみを対象として本事業を行ったため、来年度以降は、学校全体でスポーツを通じた共生社会について考えられるような機会を設けていく。</p>